

令和 5 年度 学校関係者評価報告書（まとめ用）

学校番号	12	学 校 名	静岡県立三島北高等学校	記 載 者	勝間田 浩文
------	----	-------	-------------	-------	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	基本的生活習慣の確立 と心身の健康の保持・ 増進、豊かな人間性の 醸成	・時間を守るように心がけている生徒 95%以上※ ・整備委員会による環境美化週間の実施 各学期 1 回 ・生徒による生活キャンペーンの実施 各学期 1 回 ・挨拶をしっかりとやるよう心掛けている生徒 90%以上※ ・保健だよりの発行 月 1 回 ・健康観察アプリの活用率 90%以上 ・信頼できる先生がいる生徒 90%以上※ ・部活動や学校行事に熱心に取り組んでいる生徒 95%以上※ ・図書年間貸出数（4～12 月集計）2000 冊以上 ・生徒の満足度 90%以上※	A	A	・時間遵守や教育相談室利用など成果の上がった事項が多く、先生方はよくやられたと評価しますが、目標数値に達しない項目は少なくなく、必要ならば目標数値の見直しをしても良いと思います。 ・取組み目標の通り、十分な達成がなされたものと高く評価します。 ・挨拶に関しては、運動の取り組みもあってかとても良い気持ちのこもった姿勢が見える。 ・生徒のアンケート調査結果から、時間を守ることや朝読書の時間を守れている。また挨拶についても心掛けている生徒がほぼ 90%なので達成できている。教員を信頼できている生徒 84.8%はたいへん高得点と思われる。教員と生徒のコミュニケーションは良好と評価できる。 ・とても基本的なことですが、時間を守れることや挨拶がしっかりとできることは、個人としてだけでなく、集団としての質を高める大切な視点であると思っています。 ・健康観察アプリについては、生徒よりも保護者や学校に価値がある物だと思っています。生徒にとって価値がある物とするためには、アプリの内容の検討が必要であると考えます。 ・学校に相談に乗ってくれる先生がいること、教育相談室の開室状況が高く、生徒にとって使いやすく、身近なものになっていることがとても良いと思いました。

様式第 5 号

イ	確かな学力と幅広い教養の育成に資する学習指導	・理解を深める工夫をしている授業 90%以上※ ・主体的な活動や生徒同士の対話がある授業 90%以上※ ・家庭学習時間平日平均 120 分以上※ 休日平均 200 分以上※ ・校内研修の実施 年 3 回以上（「学びの基礎診断」の結果分析を含む） ・教育課程検討委員会の開催 年 3 回以上	B	A	・まだ向上の余地も多いとのことですが目標を上回り立派な成果を上げていると思います。 ・I C T活用は評価が高い。対話式授業はグローバル的にも必要 ・科目別の評価にはまだ改善の余地があることから自己評価はB評価になっているが、生徒のアンケート調査をみると 90%以上で達成できている。 ・十分に目標を達成できていると思います。自己評価が低いのであれば、目標の設定をし直すことで足りると思います。 ・理解を深める工夫をしている授業だけでなく、主体的な活動や生徒同士の対話がある授業の割合が、成果目標を上回っていることがすばらしいと思いました。
ウ	高い志と自立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導	・将来に対する明確な夢や目標を持っている生徒 70%以上※ ・学校は適切に進路情報を提供していると思う生徒 90%以上※ ・進路実現に向けて努力している生徒 75%以上※ ・第 1 志望の大学に出席する生徒の割合 70%以上	B	B	・早くに自分の一生の夢と出会えることは幸せなことだが、社会に出て初めて知る要素も大きいと思う。進路啓発事業は大切だが、こだわらず 70%以上の目標は 3 年生に限定しても良いのでは。 ・職業別講話とインターン等は高学年向き、体験をもっと取り入れるべき。 ・「将来に対する明確な夢や目標を持っている生徒 70%以上」という成果目標が高いような印象をもっている。なぜなら、将来への目標について思い悩む時期であるし、進路情報の提供は 82.5%の生徒が適切であると回答している。 ・目標に対する達成率で考えれば、B という評価になるとは思いますが、高校卒業時まで将来について明確な目標を持つこと等が（好ましいことではあるが、）必須とまでは思われません。そういう意味で、目標数値自体が高いのではないかと思います。 ・大学進学を目標に掲げて入学している生徒がほとんどであると考え、もう少し数値が高いといいのだと思います。ただ、将来

様式第 5 号

					の職業と照らして選択する必要があると考えると、A I 等の発展によって将来の職業への不安等もあり、明確な夢や目標が持ちにくくなっている現状があると考えます。
エ	課題発見・解決力、論理的・批判的思考力、国際感覚等を備えた人材を育成するための探究的な学び・協働的な学びの深化	・授業が論理的思考力等を高めることにつながっていると答える生徒 90%以上※ ・英語力や国際性が高まったと考える保護者の割合 60%以上※	B	B	・生徒たちに最も身につけてもらいたいのは、問題解決能力と考えている。粘り強く、答えのない課題に取り組むマインドセットの涵養を更に推進する必要があるとの学校の覚悟に敬意を表します。 ・3年間をかけて達成できているのではない。 ・授業を受けて、「自分の論理的思考力が高まった」と実感することはなかなか難しいのではないのでしょうか。 ・知識・技能に比べて、自分の論理的思考力が高まったと感じられる場面が少ないのだと思います。授業やテストにおいて、論理的思考力について自己評価できる場を増やすことが手立てになると思いました。
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくり	・入学させて良かったと答える保護者 90%以上※ ・一日体験入学の参加中学生 1000 人以上 ・情報発信に熱心であると答える保護者 70%以上※ ・地域や社会の課題に対する意識が高まった生徒 60%以上※ ・年 3 回の協議会開催	A	A	・生徒への教育的見地のみならず、地域社会が生徒のより積極的な関与を必要としてきています。 ・成果目標にあるように十分な認識の中で実行されているものと判断します。 ・PTA活動を含め、地域との関わりをもつことが、学校、生徒、親、地域の連携が重要な役割。 ・成果目標を十分に達成できている。 ・学区が広い高等学校においては、保護者や地域との連携が難しいのだと思います。三島市の行事に参加する活動や、銀杏並木清掃等、地域に貢献する活動を意図的に行っている点が、素晴らしいと思いました。
カ	安全・安心な学校につながる学習環境の整備・充実	・いじめや体罰等に関する指導案件なし ・安全対策がしっかりできていると答える保護者 60%以上※			・交通安全、特に自転車の安全運転への教育をより一層充実させてほしい。SNSを通じた問題が起こらなかったことは立派であり、継続して注力してほしい。

様式第 5 号

		・交通事故件数 前年比減 ・A E D講習会等の実施 ・ニーズに即した予算の執行	B	B	・保護者の協力支援の強化が必要である。 ・SNS について誹謗中傷など不適切な使用は犯罪につながることから、引き続き指導方法の検討を継続する。大学でもライングループを使っているが、そこで些細な誤解から学生間のトラブルになったことがある。そんな時は、対面式のコミュニケーションによって解決する方法があることを具体的に事例を示し、ロールプレイングで学習する方法も効果があると思われる。 ・学校外の事象について、学校側がどこまで関与するのか、時代の変化とともに再検討も必要かと思います。 ・SNS 等の指導については、犯罪の被害者だけでなく、加害者になることの防止につながりますので、継続して行っていくことが必要なのだと思います。 ・保護者が求めている安全対策が何なのか気になりました。具体的な調査をして、手立てを行うこともできるのだと思いました。
キ	コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進	・教職員の不祥事なし ・監査における指摘事項なし ・時間外勤務時間の減少 ・夏季休暇取得率 100%	B	B	・生徒のためにも、先生方の負担軽減は喫緊の課題であると思います。運営協議会や地域社会への学校側からの要望があれば積極的に御提案いただきたいです。 ・教員が心身ともに健康で、勤務できるよう夏季休暇の取得率だけでなく「年休」も月に 1 回以上は取得したい。教員の働く喜びを評価してほしい。 ・働き方改革等については、学校内での努力のみでは達成仕切れない問題だと思います。そのような中で、創意工夫をされていると思います。 ・働く環境として、職員の円滑な人間関係ができていることが、とてもすばらしいと思いました。時間外勤務時間を減らすことが、今後の不祥事をなくすことにもつながると感じています。